

 <p style="text-align: center;">会 津 大 学</p> <h1 style="text-align: center;">後援会だより</h1>	<p>第54号          発行：会津大学後援会(事務局学生課)          発行日：2025年8月1日          住所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀          電話：0242-37-2515          URL：<a href="https://u-aizu.ac.jp/">https://u-aizu.ac.jp/</a></p>
--	--



### 学長あいさつ

「国際レベルから見て日本は相対的に『低学歴化』しているのか？」

会津大学長 東原 恒夫

社会学者の小熊英二氏は、著書『日本社会のしくみ—雇用・教育・福祉の歴史社会学』（講談社 現代新書）の中で、相対的に日本は「低学歴化」しつつあると述べています。その要点は以下のようにまとめることができます。

・ヨーロッパやアメリカをはじめ、日本以外では企業は三層構造（上級職員、下級職員、現場労働者）をなし、企業横断的に採用や昇進が行われる。そこには「職務の平等」の志向はあるが、「社員の平等」はない。したがって、企業横断的な職務の専門能力や、大学院の学位（修士号や博士号）があった方が有利になる。このため、企業間の「ヨコの移動」は容易であるが、企業内の「タテの移動」は難しい。

・これに対して、日本は学位よりも大学名の競争になり、「社内のがんばり」が評価され、修士号や博士号の取得のインセンティブが働きにくい。その結果、相対的に日本は「低学歴化」しつつある。「社員の平等」を志向する気風が強いので、企業内の「タテの移動」は容易であるが、企業間の「ヨコの移動」は難しい。

進学率の国際比較データ（2021年）を見ると[1]、25歳未満の学士課程進学率は、OECD（38カ国）平均が52.6%、日本は52.1%であり平均的位置です。一方、30歳未満の修士課程進学率はOECD平均が20.4%のところ、日本は7.4%と大きく後退しています。



### 会長あいさつ

会津大学後援会長 小林 呂嘉

会津大学後援会会員の皆様におかれましては、日頃より後援会の運営にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、新たにご入学されました新入生の皆さん、保護者の皆様、ご入学誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

さて、現在 ICT は私たちの日常生活に深く浸透し、なく

同様に30歳未満の博士課程進学率もOECD平均が1.5%のところ、日本は0.7%と下に位置しています。

このようにデータからも、相対的に日本は「低学歴化」しつつあると言えます。日本企業のこれまでの社員採用や昇進のしくみは、明治時代に入り西洋の先進技術を学び、キャッチアップする段階では非常に効率的だったために、根強く定着していったと推察されます。社員に対しても「専門家」よりも「ゼネラリスト」を要求するしくみでした。

しかし、日本も先端技術を生み出していくべき立場にありながら、今までのしくみの持つ強い慣性力のために、新たな変化が起きにくく、日本経済の低迷にもつながっていると思われます。これから5年くらいの間に、特に理工系分野の博士号取得者の増加と同時に、企業と大学を含めた博士人材の雇用の流動性を高めていくことが急務ではないかと考えます。今年の2月に出された中央教育審議会の「知の総和」答申[2]でも、特に自然科学系には、「修士・博士5年一貫プログラムの構築」を謳っています。このプログラムでは、優秀な学生に対する「早期修了制度」（最短3年で修了可能）も非常に効果的です。なお回答申では、人文・社会科学系には、「学士・修士5年一貫教育の大幅拡充」を謳っています。全体として大学院教育の充実にも舵を切っており、日本社会・経済を活性化する「高学歴化」にもつながると考えます。

[1] 中央教育審議会、大学分科会（第181回）、【参考資料1】関係データ集より [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/siryo/mext\\_01993.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/siryo/mext_01993.html)

[2] 我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）（中教審第255号） [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1420275\\_00014.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1420275_00014.htm)

てはならない存在となっています。会津大学は、「to Advance Knowledge for Humanity（人類の平和と繁栄に貢献する発見・発明を行うこと）」を建学の基本理念として掲げ、平成5年の開学以来、30年以上に渡り、まさに今の時代を見据えて人材を育成してきました。

会津大学は、コンピュータ理工学部の単科大学であるため総合大学と比べると小規模ではありますが、情報学部においては240人という定員は国内最大級であり、質と量を兼ね備えたコンピュータ環境や世界各国から集

まったトップレベルの教員による教育は高い評価を受けています。さらに、これまでの教職員の皆様をはじめとする関係各位のご尽力により、研究や教育、国際性などで非常に高く評価されており、各種大学ランキングにおいて上位にランクインしています。

学生の皆さんにおかれましては、この恵まれた教育環境を有効に活用いただき、高度なICTの知識やスキル、さらには実践的な英語力を身につけていただきたいと思います。

また、大学生活においては、自主性が非常に大切になります。どうか明確な目標を持ち、失敗を恐れず、学内外で多くのことに果敢に挑戦していただき、充実した大学生活を過ごされますよう、心から願っております。

最後になりますが、本後援会では、大学と連携・協力いただきながら、学生の皆さんが充実した学生生活を送ることができるように様々な支援を行っております。今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 学位記授与式 (2024年度)

2025年3月21日(金)、学位記授与式が執り行われました。コンピュータ理工学部卒業生211名、大学院博士前期課程修了生57名、大学院博士後期課程修了生13名、計281名を代表して、学部卒業生の小林凌士さんが答辞を述べました。

また、在学中に優秀な成績や研究の成果を修めた学生の表彰が行われました。

学長賞	栗林 世瑠(学部)
	NGUYEN Van Tinh (博士前期課程)
優秀賞	小林 凌士(学部)
	数又 悠真(学部)
	國分 虎海太 (博士前期課程)
電子情報通信学会東北支部表彰	早藤 史明(学部)
情報処理学会東北支部学生奨励賞	深井 元(学部)
電気学会東北支部優秀学生賞	鈴木 温大(学部)
計測自動制御学会優秀学生表彰	村上 達也(学部)
公益財団法人会津地域教育・ 学術振興財団表彰	徳田 龍輝(学部)



学位記の授与後、学生食堂において後援会主催の卒業記念パーティーが行われました。学生生活最後となるこのパーティーは、和やかな雰囲気の中で行われ、参加者たちが歓談や記念撮影を楽しんでいました。

## 入学式について (2025年度)

2025年4月2日(水)、入学式が執り行われました。学部244名、博士前期課程102名、博士後期課程8名、計354名が入学し、新入生を代表して、高島汰希さんと室田彩夏さんが宣誓を行いました。

入学式の後には、学部入学生全員での記念撮影を行い、各サークルの勧誘活動も行われました。



## 在学生表彰（成績優秀者）

2024年度の各学年の成績優秀者を表彰しました。会津大学では、GPA(\*)による成績評価を導入し、学部各学年の上位2～3名を表彰しています。(\*Grade Point Average: 大学における成績評価方法の国際標準であり、就職や大学院進学、海外留学の際に活用されています。)



学年 (2023年度)	成績優秀者		
学部2年	磯海 瑛斗	浅井 晴彦	大山 輝士
学部3年	笛木 アリナ	橋本 茜	三原 葵子
学部4年	水谷 祐貴	五十嵐 拓	深谷 亮太

## 学生の活動紹介 ～サークル自治会執行部～

こんにちは、サークル自治会執行部です。私たちは会津大学に所属している36団体の公認サークルが、円滑に活動できるように一年を通して活動しています。公認サークル全体のまとめ役だけでなく、各サークルが公正に運営しているかの審査も行っています。

### 【サークル自治会総会】

例年、2～3回ほど全公認サークルを招集して開催しています。ここではサークルとして活動する上での注意点や連絡事項などを共有しています。また、各サークルの代表とサークル自治会執行部が直接意見を交換することができる重要な場でもあります。

### 【運動サークル連絡会議】

年に6回ほど開催しています。この会議は運動系の公認サークルに向けて夏休みや冬休みの活動上の注意点、及び体育課の先生、学生課の方からの連絡事項を共有しています。

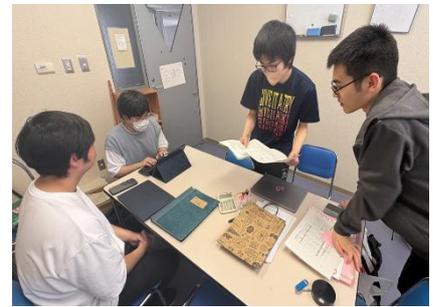
### 【予算編成】

私たちは毎年6月～次年度5月分のサークルの活動補助費として、希望するサークルに予算を配分しています。サークル自治会で定められている規約に則り、各サークルに公平になるように予算の配分を行っています。しかし、従来の規約では配分方法などについての詳しい記載がなく、多くがサークル自治会執行部の裁量に委ねられてきました。これは執行部員たちの負担が大きく、解決すべき課題として長年認識されてきました。

こういった状況を打破するため、今年度は予算編成が始まる前に、予算配分の方法を明確化するための規約改正を行いました。新しい規約についての書類の作成や各サークルに向けた説明で苦勞することも多かったですが、サークル自治会執行部が一丸となって改革に努め、無事に規約を改正することができました。

### 【今後の活動について】

予算の配分が終わった後にも、年度末更新のための書類の回収などの仕事があります。次のサークル自治会執行部員のためにマニュアルの更新や各サークルの運営のサポートをしていきたいと思ひます。



## 学生の活動紹介 ～学園祭実行委員会～

みなさんこんにちは!会津大学学園祭実行委員会です!  
私たちは会津大学学園祭「蒼翔祭」の企画・運営におけ、日々活動しております。  
ここで、蒼翔祭について少しご紹介させていただきます。

### ◎ 今年度の蒼翔祭の日程

今年度は10月11日(土)と10月12日(日)の2日間に開催予定です。

### ◎ 昨年度の活動

昨年度の学園祭は、2024年10月12日から13日の2日間にわたり開催され、約30団体が参加し、2,957人もの来場者で賑わいました。

毎年大盛況の大抽選会やゲスト公演をはじめ、こども広場やドローン体験会といった、お子様にも楽しんでいただける企画に加え、新規企画であるSave the UoA、最後を締めくくる花火など、多くの来場者に楽しんでいただく事ができました。活気あふれる露店、各サークルの趣向を凝らした企画も学園祭を盛り上げました。



## ◎ 最後に

コロナ禍という言葉も聞かなくなり、蒼翔祭も以前のような規模に戻ってまいりました。サークル主体の企画・ステージ発表・屋外露店、人気企画の「ドローン体験会」や「大抽選会」に加え、これまでにない新規企画も準備しております！

また今年度はIT部が新設され、新たなサービスの導入も進めております。当日はぜひとも蒼翔祭へお越しください！皆さまのご来場を心よりお待ちしております！

## 海外留学事業について

会津大学では、国際競争力の向上と国際的に活躍できる人材の育成ため、学生に国際化プログラム等を提供しています。今回は、短期留学プログラム及び海外インターンシップに参加した学生の声を紹介します。

今回は、短期プログラムに参加した学生の中から、3名の体験談をご紹介します。

### 短期留学：ローズハルマン工科大学（アメリカ）

派遣期間：16日間

Y.H. さん（派遣時：学部1年）

私が最も印象に残っていることは、ほとんどのローズハルマンの学生が長時間勉強していたことです。例えば、少しでも空き時間があれば課題をこなしていました。また、特に驚いたのは、ある友達が真夜中に図書館で勉強した後に寮に帰ってきたことです。これは、自分からすると体力的にも大変なスケジュールに思えました。

一方で、会津大学は演習室が24時間使えるため、勉強するには適した環境だと改めて感じました。そして、多くの学生が長時間勉強していた理由は、出される課題の量が膨大であるからだと感じました。日本の大学では、そこまで自学自習にこだわらないので、この点がアメリカの大学と日本の大学との最も大きな違いだと思いました。私は、授業後に帰宅しても、SNSを使用する等時間の無駄遣いばかりだったため、これからは、もう少し勉強をする習慣を身に付けたいと思いました。そして、ローズハルマンの多くの学生が自分の専攻に情熱や興味を持っていることに気付きました。自分の専攻について話す時、彼らの瞳が輝いていたのです。非常に感銘を受けました。他にも、ローズハルマンの教授は大変フレンドリーで、授業中には、あらゆる質問を歓迎していたことが印象的でした。今回の留学では、日本とは違う多くの文化を知ることができ貴重な経験となりました。



### 短期留学：ワイカトカレッジ（ニュージーランド）

派遣期間：3週間

鶴澤 龍之介 さん（派遣時：学部2年）

自分にとって初めての海外渡航だったので、ニュージーランドに到着した際は、ものすごく不安で、緊張していました。英語ネイティブの方々に自分の英語が伝わるのだろうか、何も得られないまま終わってしまうのだろうかと考えていました。

しかし、ホストファミリーをはじめ、現地の方々はとても寛大でフレンドリーでした。赤子を見つめるような笑顔で、「あなたの英語は素晴らしいし、一生懸命さが伝わるよ」と声をかけてくださり、励ましてくれました。そのおかげで、英語でネイティブの方々と話すことに対するナーバスさは、完全になくなり、間違えてもいいから、英語で話すことにチャレンジしました。

大学の授業も最高でした。クラスはほとんど日本人で構成されていて、色んな大学の人たちと授業を受けました。クラスの全員がとてつもなく強いモチベーションを持っており、私もその姿を見て負けられないと感じました。クラスが同じだった人たちとはとても仲良くなり、留学後にみんなで旅行する計画を立てるほどの仲になりました。3週間という限られた滞在期間でなければ、もっと他のニュージーランドの観光地にも訪れたかったです。

留学が終わり改めて感じることは自分の将来の選択肢が広がったということです。英語が話せるようになれば、さらに多くの人々と交流することができ、世界の文化をより知ることができるようになりました。



**短期留学: FPT 大学、ダナン市内の企業(ベトナム)****派遣期間: 5 週間****長沢 勇希 さん (派遣時: 博士前期課程1年)**

私は、就職活動を本格的に始める前に「海外で働くとはどういうことか」を自分の肌で感じてみたいと思い、今回のベトナム短期インターンシップに参加しました。海外渡航自体が初めてであったことから、出発前は大きな不安がありました。現地での就業体験を通して不安は消えました。その理由は次の2点です。

私にとって特に大きな挑戦だったのは、英語でのコミュニケーションです。得意ではない英語でのやり取りに最初は戸惑いましたが、「完璧に話すことよりも、自信を持って伝えることの方が大切だ」と実感し、貴重な経験になりました。

インターンシップ先の会社では、実践的なソフトウェア開発に取り組み、まるで本当の社員の一人として働いているようでした。海外での職場環境をリアルに体験できたことは、自分のキャリアを考える上で大きな糧となりました。

このインターンシップを通して、海外で働くことの楽しさや難しさ、そして何より「挑戦することの大切さ」を改めて感じました。今回の経験を活かし、今後も積極的に新しい環境に飛び込んでいきたいと思っています。

**2024 年度派遣実績 41 名****【海外留学】**

- ・海外留学準備のための英語体験プログラム 12 名
- ・短期留学プログラム(ローズハルマン工科大学、ワイカトカレッジ、大連東軟信息学院) 14 名
- ・中期留学プログラム(オストバイエルンレンゲースブルク応用科学大学、カールスルーエ応用科学大学) 3 名

**【海外インターンシップ】**

- ・短期シリコンバレーインターンシッププログラム 3 名
- ・短期/中期 ダナンインターンシッププログラム 5 名
- ・短期中国大連インターンシッププログラム(DNA プログラム) 4 名

2025 年度も同様プログラムを展開しております。今後も、学生が参加できる国際交流活動を支援し、国際交流・海外留学の推進に努めて参ります。

※本学の国際交流については、下記からご覧いただけます。

■国際戦略・国際交流 <https://u-aizu.ac.jp/osip/> ・ <https://u-aizu.ac.jp/campus/international/>

■プログラムに参加した学生のレポート <https://u-aizu.ac.jp/osip/dispatch/report/>

■海外の協定大学との連携 <https://u-aizu.ac.jp/osip/school/index.html>

**修学支援室より**

修学支援室は、講義や演習だけでは内容を十分に理解できなかった際に先輩に相談・質問できる場です。支援室には本学卒業生が務める修学支援員及び大学院生・学部生によるアシスタント(TA・SA)が待機し、数学からコンピュータ系科目まで幅広く対応しており、一年生をはじめ、多くの在学生の皆さんも利用しています。パーテーションで区切られた自習室も備えていて、様々な学生にあった形で利用できるようになっています。



### ◆ オンライン化への取り組み

修学支援室では学内外を問わず、どのような状況でも学業支援を行うために様々な検討を行いました。実際に行った取り組みとして、メールでの質問対応や授業で難しく感じたと学生の声が多かった内容についてweb上での解説等を開始しました。結果、支援室内外で学生さんのサポートを行うことに成功しています。今後も利用者の利便性向上のためこれらの取り組みについて継続する予定です。

### ◆ 履修相談

年々変わる授業内容、進級に関わる履修規程などにより学生にとって履修計画はより複雑で難しいものになっています。これにより自分の履修状況等を不安に感じる学生も少なくありません。そのような相談に対し、情報の提供及び今後の履修計画の提案なども行っています。また質問対応同様でメールでの相談も受け付けています。

### ◆ 試験期間中の対応・臨時開室

期末試験直前の勉強の追い込みをしたい学部生向けに、日曜日に修学支援室を臨時で開室しテスト勉強のサポートを行いました。それに加え、臨時開室中もメールでの質問対応も行い、様々な学生さんに対応いたしました。

### ◆ 学内システム開発の支援

学内向けシステム開発のサポートも行っています。代表的なところでは学生の健康診断や就職相談の個別面談に用いられる予約システムの開発を担当させていただきました。

修学支援室（研究棟2階 246E）

● 電話：0242-37-2758 ● Email: ofls@u-aizu.ac.jp  
<https://u-aizu.ac.jp/campus/support/learningsupport/>

#### 学生スタッフ紹介

学部4年 小林幸生さん



修学支援室 SA 歴2年目です。学部生のみですが、よりよく学べるよう、他のTA/SAメンバーと協力しながらサポートを行っています。理解を深めるための適切なアドバイスを考えるなかで、私自身も新たな学びを得ることができ、日々やりがいを感じています。

## 保健室・学生相談室より

### ■ 保健室

阿部 さえ子 看護師

研究棟1階（148）  
0242-37-2517  
nurse@u-aizu.ac.jp



いきかたのずれは心身の不調や行動のずれ。治る力は私たちの中にあります。心身の不調や行動のずれは、私たち自身の内なる声に気づくためのサイン。内なる声に気づきその声に耳を傾けよう。



### ■ 学生相談室

橋内 哲治 カウンセラー

研究棟2階（252）  
0242-37-2610  
counseling@u-aizu.ac.jp



人は思っているよりも強く、思っているよりはずっと弱い。人とは、矛盾だらけの心の有り様なのかも知れません。心での捉え方の習慣が変われば人格が変わり、人格が変われば運命が変わります。一緒に話してみませんか。

## 就職支援室より

現在社会全体で急激なDX化が進んでおり、多くの業界でデジタル化に必要な人材を求めています。

会津大学はまさにIT人材の育成を目指している大学であり、学生自身の高い専門性と積極的な活動の成果が各業界から評価を受け、高い就職率につながっています。

就職支援室では、一人ひとりに進路個別面談を行い、進路を考える上でのサポートや直接話すことで関係性を築くことなどに注力しており、答えを教えるのではなく、「考えるプロセス」を通じて、自分の価値を見出せるよう支援を行っています。

### ◆ 対応できること（オンライン相談可）

- ◆ 進路・就職・インターンシップ相談 ◆ 面接対策、面接練習
- ◆ エントリーシート・履歴書添削・アドバイス ◆ その他 ひとりで抱え込まず、お気軽にご相談ください

### ◆ 保護者の為の就職活動支援

後援会では、保護者のみなさま向けのキャリア支援サイトを開設しました。また、あわせて保護者向けの就活支援セミナー動画を配信しています。

#### 1. キャリア支援サイト

URL: <https://career-book.jp/login>



#### 2. 就活支援セミナー動画



URL:

[https://web-int.u-aizu.ac.jp/official/students/sad/career/support association/seminar support association.pdf](https://web-int.u-aizu.ac.jp/official/students/sad/career/support%20association/seminar%20support%20association.pdf)



木戸相談員 & 瀬戸山相談員

ID、パスワードについては、学生の皆さまにお伝えしておりますので、ご確認ください。なお、ログイン方法等、不明点ございましたら事務局までお問い合わせください。



## 2024年度 就職・進路状況について

後援会では、各種資格試験（情報処理技術者試験、TOEIC）の奨励金を支給するとともに、就職活動交通費・宿泊費についての補助を行い、学生の就職活動を支援しています。

### 2024年度進路決定状況（2025年5月末現在）

#### ◆ 就職状況

	進路希望	決定者数
民間企業	126	124
県内	13	13
県外	113	111
教員	3	3
公務員・団体等	0	0
起業・家業	0	0
<b>合計</b>	<b>129</b>	<b>127</b>
<b>就職率</b>	<b>98.4%</b>	

#### 主な就職先（一部抜粋）

日本全薬工業  
田中貴金属グループ  
キャノンメディカルシステムズ  
クボタ  
ディスコ  
タムラ製作所  
マイクロン  
アイリスオーヤマ  
東芝テック  
日本デジタル研究所  
東京電力ホールディングス  
BIPROGY  
DMM.com Group  
JR東日本情報システム  
NECソリューションイノベータ  
アルファシステムズ  
キャノンITソリューションズ

クレスコ  
ソフトクリエイティブホールディングス  
チームラボ  
テレビ朝日メディアプレックス  
フリー  
楽天グループ(エンジニア職)  
電通総研IT  
日立ソリューションズ・クリエイティブ  
日立産業制御ソリューションズ  
東邦銀行  
アクセンチュア  
日本工営都市空間  
二本松市立中学校  
茨城県立高等学校  
公立大学法人福島県立医科大学  
総合警備保障  
日信電子サービス  
博報堂

#### ◆ 進学状況

	進路希望	決定者数
本学大学院	77	77
他の大学院	8	7
海外の大学院	1	0
<b>合計</b>	<b>86</b>	<b>84</b>

## 2025年度 後援会活動について

後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しています。

2024年度決算及び2025年度事業計画・予算につきましては、2025年度後援会総会（※書面協議）において下記のとおり承認されました

2024年度決算

1 収入科目	決算額(単位:円)
会費	14,410,670
雑収入	9,325
TOEIC テスト受験促進事業	485,150
戻入	7,000
繰越金	13,976,182
計(a)	28,888,327

2 支出科目	決算額(単位:円)
会議費	0
事業費	17,093,183
学生課外活動助成費	6,001,100
厚生及び進路対策費	7,411,943
研修等助成事業費	155,615
スキルアップ奨励事業費	2,065,555
TOEIC テスト受験促進事業	1,458,970
PCR 検査緊急補助事業	0
記念事業積立金	500,000
予備費	0
計(b)	17,593,183
当期収支差額 (a)-(b)	11,295,144
次期繰り越し	11,295,144

2025年度事業計画

時期	事業概要
2025年	4月 総会(書面協議)及び役員会(中止)
	4月～翌3月 クラス活動助成事業
	4月～翌3月 新入生クラスミーティング運営補助
	4月～翌3月 TOEIC テスト支援・受験促進事業
	4月～翌3月 就職活動交通費・宿泊費補助事業
	4月～翌3月 ボランティア活動費補助事業
	4月～翌3月 研修等助成事業
	4月～翌3月 スキルアップ奨励金事業
	4月～翌3月 保護者のための就職活動支援(ウェブ掲載)
	4月～7月 10月～翌1月 朝食定期券補助
	8月 後援会だより(第54号)発行
	10月 学生会・学園祭実行委員会への助成
	10月 役員会
2026年	3月 後援会だより(第55号)発行
	3月19日 役員会/卒業記念パーティー

2025年度予算

I 2025年度会津大学後援会予算

1 収入科目	予算額(単位:千円)
会費	13,500
雑収入	10
TOEIC テスト受験促進事業	500
繰越金	11,300
計	25,310

2 支出科目	予算額(単位:千円)
会議費	0
事業費	17,132
学生課外活動助成費	6,001
厚生及び進路対策費	7,411
研修等助成事業費	160
スキルアップ奨励事業費	2,100
TOEIC テスト受験促進事業	1,460
記念事業積立金	500
予備費	7,678
計	25,310

II 2025年度記念事業積立金予算

1 収入科目	予算額(単位:千円)
積立金	500
雑収入	5
繰越金	1,071
計	1,576

2 支出科目	予算額(単位:千円)
記念事業費	0
予備費	0
計	0

2025年度後援会役員

役職	役員	
名誉会長	束原 恒夫	
会長	小林 呂嘉	
副会長	五十嵐 敏之	白坂 光剛
監事	濱尾 忠弘	渡部 高夫
委員	上野 健一	猪狩 秀仁
	小林 亜樹	大竹 智亜理
	本多 悟	佐藤 志津
常任委員	鶴見 宏幸	